

東北企業の海外進出

— 持続的かつ実りあるものにするためには —

開会挨拶

原田 善教 (東北学院大学東北産業経済研究所長、経済学部長)

基調講演 (50分)

『地域でつながり、世界とつながる—復興を超えた成長に向けて—』

東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 戸堂 康之氏

戸堂 康之(とどう やすゆき)氏 略歴



1967年大阪府生まれ。91年東京大学教養学部教養学科卒業。スタンフォード大学経済学部博士課程修了(経済学 Ph.D.)。南イリノイ大学経済学部助教授、東京都立大学経済学部助教授、青山学院大学国際政治経済学部助教授などを経て、現在、東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻教授。著書に、『技術伝播と経済成長』(勁草書房、2008年)、『途上国化する日本』(日経プレミアシリーズ、2010年)、『日本経済の底力』(中公新書、2011年)など。

事例報告 (各20分)

『海外進出のための経営イノベーション』

山形大学 教授(元 NEC パーソナルプロダクツ執行役員) 柴田 孝氏

『アジアでの経済活動の実情』

山形県企業振興公社 海外取引支援アドバイザー

(元東北バイオニア専務取締役) 怡田 幹雄氏

『「ニッポン」を世界へ売り込め、ローカル中小企業の挑戦』

今野印刷株式会社 代表取締役社長 橋浦 隆一氏

『宮城県産品の海外販路開拓とジェトロの取組み～食品輸出を中心に～』

日本貿易振興機構(ジェトロ)仙台貿易情報センター 所長 中川 明子氏

パネルディスカッション (60分)

モデレーター：伊鹿倉 正司 (本学経済学部 准教授)

日時：2012年 **12月1日** 土

12時30分開場 13時開会 (17時終了予定)

会場：土樋キャンパス8号館5階

押川記念ホール

どなたでも受講できます。
直接会場にお越し下さい。

申込不要
無料

〒980-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学研究機関事務課

TEL：022-264-6362 FAX：022-264-6530

主催：東北学院大学 東北産業経済研究所 後援：経済産業省東北経済産業局



事例

地元自治体とも連携し、全国の若手グラフィック・デザイナーの作品を海外に発信する事業に取り組む企業

宮城県仙台市の今野印刷株式会社（従業員 47 名、資本金 5,000 万円）は、印刷業を中心に、マルチメディア技術等を活用して事業領域の拡大に取り組む企業である。同社は、仙台市が推進するクリエイティブ・クラスター・コンソーシアム活動に参加している。

同社の橋浦隆一社長は、年賀状事業の実績を通じて蓄積した国内でのカード事業に関する同社のノウハウを活かすことで、クラスター活動を推進しようとする中で、巨大市場である米国のグリーティングカード市場に、ジャパニーズ・グラフィック・アートでデザインされた商品がほとんどないことに気付き、ここに着目すれば事業化ができると考えた。そこで、市内のデザイン事務所のオーサムクリエイティブ株式会社と連携し、'tegami(テガミ)' ブランドを立ち上げ、日本全国の若手デザイナーにカードデザインを依頼する仕組みを構築した。

ジェトロ仙台の支援を受け、2011 年 1 月にはニューヨーク国際ギフトフェアを視察し、次回のフェアに出展するために、活動の方向性を企画していた。その矢先、東日本大震災と余震により、同社の印刷設備が被害を受け、本業が操業

停止に追い込まれることとなった。

橋浦社長はフェアへの出展を見送ることも考えたが、「頑張ることができる企業が頑張ろう、地域を元気づけるためにも地域の中小企業が海外展開に挑戦している姿を見せよう。」と出展を決めた。2011 年 8 月の初出展では、ブースデザインを国際的にも評価が高い地元仙台市のインテリア・デザイナーの尾形欣一氏に依頼し、ジャパニーズ・グラフィック・アートの世界観の表現に挑戦した。

出展後、ニューヨークの文具用品店等数件の商談がまとまったほか、日本の若手デザイナーの作品をカードで表現する手法が、新たな日本文化の発信方法として評価され、デトロイト日本商工会等からの声かけを受けている。

橋浦社長は、「仙台にクリエイティブ・クラスターを形成したいという地元自治体の活動に、地元企業として、全国のデザイナーが、海外と有機的につながるための拠点機能を担おうと参加している。震災により半ば諦めそうになったが、これまでに築き上げてきたネットワークを強みとして、事業を更に発展させていきたい。」と語る。



ニューヨーク国際ギフトフェア2012冬展における出展ブース